

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.
171

2013年12月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 世田谷区岡本2丁目33番23号
 泉の家 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
 izumi@izumikai.jp
 http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
 就労日の出舎 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
 info@hinodesha.org
 相談日の出舎 http://hinodesha.org/

グループホーム 〒197-0825 あきる野市雨間322-12
 いずみ ☎042(550)9083
 bwz12948@nifty.com

岡本福祉 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
 作業ホーム ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
 okamoto@izumikai.jp
 http://izumikai.jp/okamoto/

岡本福祉 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
 作業ホーム ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
 tamatutumi@izumikai.jp
 玉堤分場 http://izumikai.jp/tamatutumi/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
 二〇一三年十一月十二日発行(SSSKP通巻五五五号)

● 本年の聖句

主に望みを置く人は、新たな力を得、

驚のように、翼を張ってのぼる。

走っても、弱ることなく、

歩いても、疲れない。

(イザヤ書40章31節)



真剣な表情で絵を描く小谷野さん(日の出舎)

試行錯誤

理事長 佐分利 正彦



を与えます。しかし、本来のトライアンドエラーには、「種々の方法を試みて失敗を重ねながら解決方法を追求する」という積極的な意味が含まれています。

私は化学の研究に長く従事してきました。研究というものはこれまで世に知られていない何か新しいことを見出す、あるいはつくりだすことが目的であり、私も日常的に「試行錯誤」を繰り返していました。たとえ小さな課題であっても、解決するには様々な「試行実験」が必要ですが、実験の多くは期待した結果は与えませんでした。しかし、辛抱強い「試行錯誤」は多くの場合成果につながるということを体験しました。

ところで、化学(一般的に科学)分野での実際の課題の解決方法は、自然が相手なので一つだけと思われるかも知れませんが、決してそうではありません。ここに多くの試行錯誤が必要となる理由があります。福祉の現場では「人間」が相手です。課題の解決は当然「試行錯誤」が必要であり、また、一つの解答が得られたとしても、それがベストとは限らない。支援する側にも、支援を受ける側にも「試行錯誤」を続けることに対する強い気持ちが必要とされてきます。冒頭に述べた「試行錯誤」の本来の意味を大切にして、日々を過ごしたいと願います。

地域との交流

泉の家・岡本ホーム

「OPEN THE DOOR」
2013「開催

9月7日(土)に泉の家・岡本福祉作業ホーム合同で施設公開行事「OPEN THE DOOR」を開催いたしました。地域の皆様と親交を深め、施設を知っていただくことをコンセプトに行い、今年で7回目になります。今年も天候は崩れることなく、400人以上の来場者がありました。

泉の家では、オリジナルのミサンガやエコバッグ作りの体験コーナーを催し、



初めてのたません☆美味しいよ!



とびうおのだし入り焼きそば!

多くの人で賑わいました。宝物釣りゲームで景品を狙うお子さん達の盛り上がり準備から携わった利用者も嬉しそうでした。注目を集めた「たません」は初めて召し上がる方も多く「美味しい!」と大好評で、世田谷福祉作業所様のお手製の「焼きそば」も完売でした。カフェの限定メニュー、タピオカドリンクも売り切れ、行事をきっかけにお店を知った方が後日来店下さり、嬉しい繋がりが広がっています。



ポブリ体験♪地域の方とたくさん交流できました

のすまいる梅ヶ丘様、喜多見福祉作業所様、大原福祉作業所様も参加した販売コーナーなどを設けました。特に活気をみせたのが、施設の活動を実際に体験できる「体験コーナー」です。陶芸の絵付けや織り機体験など全4コーナーを実施。なかでも紙すき体験では、お客様同士が声をかけ合い、仲良くなるなど、和気あいあいとした雰囲気となり、利用者や職員がお客様に流れやコツを伝えながら、楽しい時間を過ごすことができました。

また今年には泉の家・岡本ホームで合同のイベントも開催しました。お客様との交流を目指した企画「もじびつたん」では、隠された文字を探しに両施



ロッテ、グリコ様より協賛のお菓子をいただきました

設に足を運んでいただき、解答時には利用者とお客様が自然と笑顔になりました。福引コーナーでは、協賛いただいたお菓子やフルーツなど多様な景品を用意し、楽しんでいただきました。地域の皆様と交流が図れ、実りの多い行事となりました。行事成功の大きな力となったのがご家族とボランティアの皆様のご協力です。あすなる会様、目黒星美学園様、そして日頃から活動を支えて下さるボランティアの方々の陰で利用者はスタッフとして活躍し、見学や体験も楽しむことができました。ありがとうございました。

(小林 玲奈 細田 隼矢)

日の出舎

「日の出町第三自治会秋の祭り」

9月29日、八幡神社例大祭の神輿渡御が行なわれ、今年も日の出舎から職員の高木と加藤が参加しました。当日は最高の天気で、朝から地域の方々が数多く集まり、ワクワクしながら祭りの開始を待ちました。

神輿、囃子、太鼓の巡行が様々な拠点を巡ります。その中には、第三自治会にある福祉施設も多く含まれています。地域の老人ホームを巡る際も多くの方々のご声援が担ぎ手に伝わり、それが大きなパワーとなりました。日



利用者も楽しみにしていました



地域の方々へおもてなし

の出舎にも立ち寄り下さるため、多くの利用者が毎年楽しみにしている行事となっています。

神輿渡御は大人だけではなく、親と共に地域の子供たちも多く参加し、太鼓を叩いたり、笛を吹いたり楽しんでいました。現代社会では、地域だけではなく、家族間の交流さえ少なくなっていると言われていますが、このような光景を見ると、地域・家族の繋がりの強さを実感し、嬉しく感じるのは私だけではないと思います。

地域の方々と協力しながら担ぐ神輿は楽しいものです。息を合わせて、

声を掛け合い、助け合う。とても活気があり、普段なかなか交流できない方々とも、すぐに打ち解けられます。私自身も第三自治会秋祭りの神輿担ぎには何度か参加させて頂いていますが、私が生まれ育った環境の中にはこのような大掛かりな行事がなかったため、この第三自治会での神輿担ぎは人生で初めての体験でした。日本の素晴らしい文化や伝統を継承し、次世代に繋いでいくことは大事なことだと思います。



みこしかつぎでワッショイ!



(加藤 圭介)



御神輿日の出舎に到着

玉堤分場

「人とつながる大切さ」

玉堤分場の活動の中で、すばらしいところをひとつあげるとすると、それは「地域とのつながり」ではないでしょうか。幸運にも1年を通して、たくさんの方と接する機会をいただいております。

毎年恒例のイベントや販売会に加え、今年は、新たな試みとして母の日



どんなハガキが出来るかな？

クッキー教室と父の日クッキー教室を開催しました。

初めての試みなので、お客様が来るのか心配でしたが、近隣の幼稚園や小学校にチラシを配ったのが功を奏したのか、すぐに予約でいっぱいになりました。うれしいことに、母の日クッキー教室の評判を聞き、父の日クッキー教室に参加してくださった方もいました。

このイベントをきっかけに、これまで玉堤分場のことを知らなかった人、私たちの存在が身近な存在だということを感じていただけたら、うれしく思います。

毎年行く出張教室ですが、これまで



お母さんに感謝をこめて

は、押し花ハガキとサンドプラストで呼んでいただいていたのですが、今年は紙すき教室もやらせてもらう機会がありました。たくさんの方々が参加してくれました。「また来年も来て欲しい」と大変好評で、講師をした利用者のやりがいにもつながったのではないのでしょうか。

これまで参加してきた出張教室や販売会などで、玉堤分場のことを知ってもらい、新規のクッキー注文や、出張教室に呼んでいただく機会があると、これまでの活動全てが、つながっているのだと、感謝の気持ちでいっぱいになります。

以前、医療機関や外部の方に向けて、利用者報告会というものを玉堤分場で開催したのですが、その際に、来場してくれた近隣の病院の先生の紹介で、その病院に玉堤分場のクッキーを置いていただくことになりました。新規のクッキー注文へとつながったのです。

待っているだけではなく、何かアクションを起こすことで、人とのつながりが生まれ、結果として、また次のつながりが生まれるのだと感じる出来事でした。



サンドプラストは毎年大人気！

玉堤分場は、地域の人々、ボランティア、町会の方、たくさんの方から支えられています。

これからも様々な活動を通して、玉堤分場を知っていただきたいと思います。そのためにも、いつも新鮮な空気の入る、風通しの良い場所であるよう、努めていきたいと思っています。

(津島 将次)

第5回 成城音楽祭

泉会では、法人理念に基づき、2009年度より、チャリティーコンサートを実施しています。障がいのある方も、ない方も共に、充実した時間を共有し、地域交流の場となり、泉会の活動を知っていただく機会としています。また、東北地方を襲った未曾有の大震災の復興支援として、被災地域の障がいのある方々が製作した、製品販売を行っています。これらを企画実施することで、より多くの方々から、ご理解やご支援をいただけることを目的としています。

その活動も今年で5回目を迎えました。前回も300名を超える方々の参加がありました。「大変良いコンサートだった」「毎年楽しみにしています」と、お声掛けもいただき、充実した企画になってきていることを実感しています。

今年度も皆様、楽しみにしていただき、是非とも、足を運んでいただければ幸いです。

したら幸いです。

【場所】成城ホール

【日時】2014年3月13日(木)

【開演】18時30分～20時30分

【内容】1部ギタリスト中島茂氏

*世田谷区在住、地域で積極的に活躍されています。



中島茂氏

2部ピアニスト福田直樹氏

*第1回成城音楽祭で演奏。学校や施設など、精力的に全国を周り演奏会を実施されています。



福田直樹氏

日の出町と「相談日の出舎」

2013年6月1日に日の出町より特定相談支援事業の指定を受け、社会福祉法人泉会が「相談 日の出舎」の事業を開始しました。現在6名の方の相談支援を実施しています。指定特定相談支援は、障がい者の地域生活を支えるために、本人とともに総合的に考え、複数の障害福祉サービスを組み合わせる「サービス等利用計画」を作成し、これに基づいて関係機関、事業者等と連携し、その方のサービスを調整・推進・点検再考するものと言えます。その要諦は、①地域の障がい者がその能力や適性に応じ、自立した生活を営めるよう配慮することです。②利用者の意思と人格を尊重し、その立場に立つて、公正中立に行う必要があります。③また利用者の心身の状況や環境等にに応じて、地域の社会資源の改善、開発に努めるものでもあります。こうしてまとめると、感慨深いものがあります。2008年11月28日以来、



(支援課長 高木 有己)

日の出町からの要請を受け、日の出町地域自立支援協議会定例会に日の出舎も出席させて頂くようになりました。協議会もまた「困難ケース等の相談支援の場として」、「社会資源の開発」の機能も担うものです。協議会では、つとに相談支援事業の重要性に着目し、サービスをつなぐ地域の相談窓口設置の必要性を提言してきました。これに何とか応えることができないか考えてきました。「相談 日の出舎」が地域の社会資源として、「一般相談支援に比べ限定的ではあっても、特定相談支援により、少しでも地域福祉に寄与できることは、法人としてまことに幸いです。

我々を導いて下さった日の出町や「ひので福祉ネットワーク」の皆様、また日の出町地域自立支援協議会や福祉関係者の皆様が与えて下さったこの機縁に深く感謝する次第です。

泉の家だより

「あすなるシアター」

日頃より園児との交流や幼稚園行事に参加させていただいている「こひつじ幼稚園」の保護者の方々と結成されたボランティアサークル「あすなる会」には、泉の家での活動を企画実施していただいたり、施設公開行事のスタッフとしてご協力いただく等、大変お世話になっていきます。9月26日には、「あすなる会」による人形劇「あすなるシアター」が泉の家にて開催されました。施設の建て替え後は、泉の家での上演が毎年恒例となり、毎回本格的な脚本と演出で楽しませて下さるので利用者の皆様の楽しみのひとつになっています。2年目からは、あすなる会の方々の提案で、鑑賞するだけでなく、利用者の皆様も演者として出演するという取り組みもしています。事前に台本をお預かりして練習を重ね、楽器や身近な物を使って効果音を出したり、マイクを持って台詞を言ってみたり、ドキドキしながらも、皆さん堂々



迫力のある王様！

（石黒 貴之）

日の出舎だより

「日の出舎の生活介護」

現在、入所利用者（生活介護）の日の活動は陶芸・木工・創作運動活動をメインに提供させて頂いております。陶芸は個々の個性が形になるので自分を表現したいという利用者さんから人気です。なかには約2時間で6個も作品を創り出す創作意欲が高い方もいらっしゃいます。

木工では木片を紙やすりで丁寧に磨き、積み木を作っています。近隣の保育園に無料で提供し、大変喜ばれています。

創作は絵画や塗り絵を中心に行っていますが、作品展が近づく共同作業で大作を作ります。先日は埼玉県子ども動物公園のアートフェスタにベクトルの蓋に色を塗って創った「ペンギン」「ウシ」等を出展しました。

運動では施設敷地内の周回や、ドクターからの指示を個々のプログラムに反映させてのリハビリで運動量の確保、機能向上・維持を目標に支援して



みんなで楽しく陶芸！！



創作活動で絵を描いている様子

います。もつと運動に参加したいという声が多く聞かれるプログラムです。また、午後の活動では「ゆとり」という活動名で、入浴以外の時間は整容（爪切り、耳かきなど）テーブルゲーム、映画上映など様々な活動を提供しています。

日の活動は生活の基本と考えています。利用者にとって良いと思うものは積極的に取り入れ、メリハリのある生活を提供し続けていこうと思います。

（中村 竜太）

岡本ホームだより

「岡本ホーム自慢の食堂」

岡本ホームでは利用者の高齢化と障がい重度化に伴い車椅子利用が多くなってきました。

以前の食堂の机のレイアウトでは車椅子利用でのスペースの確保が難しく、車椅子の出入りがしづらい場合もありました。その為、食堂のスペースを見直して、皆が移動しやすく、席に着きやすい机のレイアウトの変更と席の配置替えをすることになりました。岡本ホームの食堂の机は20年以上使用しているため、かなり古くなったものや車椅子で着席することが難しい机もあり、今回の食堂の席と机のレイアウト変更を機会に利用者が使用しやすい机を新たに購入することにしました。机のレイアウト変更では職員で何度も話し合いをし、車椅子で食堂の机までの行き易さ、移動のしやすさ、スペースが十分にとれているかなど検討を重ねました。車椅子で着席しやすいように窓際に面して机を配置するよ



リニューアルしました

（陶山 智憲）

玉堤分場だより

「リハ科渡邊先生のグループワークで脳を活性化させよう」

玉堤分場には、たくさんの専門職が来所し、障がいに対する専門的な評価やアドバイスを利用者・職員・家族にいただき、支援に生かしています。

リハビリテーション科の渡邊先生は2009年から、嘱託医として月1回来所されていますが、毎回全員でのグループワークを1時間実施してくださいます。

まず「まごわやさしいよ」から。最初は皆さん何のことか分かりませんでした。「ま」は豆、「こ」はこま、「わ」はわかめ、「や」は野菜、「さ」は魚、「し」は椎茸、「い」は芋、「よ」はヨーグルトで、体に良い食べ物の頭文字をもじったものです。毎回これを聞かれ、野菜や魚の名前をあげていきます。障害のため、思い出せないことや、言葉が出にくいことがあっても、全員で考えるので、常にヒントにあふれ、いつの間にか頭脳はフル回転、全員が集中して参加していることが分かります。先生は「毎回



合言葉は「まごわやさしいよ」

（上原 絹代）

違う事を考えるのは大変だから、繰り返しになっちゃう。」と話されますが、この同じことの繰り返しは積み重ねとなり、今では「まごわやさしいよ」はほぼ全員がさつさと答え、先生が用意する次の話題に移っています。その他では、身近な話題や、高次脳機能障がいの方のビデオなど、興味の持てる話題を出していただき、様々な事を考える事で脳を活性化（元気に）しています。それはグループワークの後の笑顔に表れています。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一三年十一月十二日発行（SSK P 通巻五五五号）



泉の家

野村健二さん

在宅で一人暮らしをしながら、泉の家を利用されている野村健二さんにインタビューをさせていただきました。

Q 一人暮らしをされてどれくらい経ちますか？

A 「約10年です。現在はヘルパーを利用しながら一人で生活しています。」

Q ヘルパーの他に、利用しているサービスがあれば教えてください。

A 「訪問リハビリ、訪問看護、訪問診療で歯科医が来ます。僕が外出をしなくても、自宅へ来てくれるので助かります。4ヶ月に1度の割合で、姉や医師、関係機関の方々と話し合いをして

います。」

Q お一人で大変なことはありませんか？

A 「自宅には手すりがなく、立つときに不便だと感じていました。今はトイレとお風呂に手すりをつけました。今後はトイレの便座の位置を高くしたいと考えています。そうしたらもっと生活しやすいと思うので。」

Q 外出はどのような場所へ行きま

A 「週3回、泉の家を利用しています。週に1回、地域生活支援センターに行っています。」

Q 今後の抱負を教えてください。

A 「今の生活を続けていきたいです。泉の家ではストレッチ等に参加し、身体機能の維持に励みたいですね。自立支援センターにも継続して通い、色々な人と交流していきたいです。」

Q 最後にいずみ新聞を読んで下さる方々へメッセージをお願いします！

A 「失ったものがあれば、必ず得ているものがあります。それを

見つけ、自分の人生に利用して過ごしていくことが大切です。そうすれば今よりも、もっと楽しく過ごしていけるのではないかと僕は考えています。」

幅広い知識を持つ野村さんから、日々、多くの事を教わっています。泉の家では、活動を通じて、今後も野村さんが在宅で一人暮らしを続けられるよう、関わっていききたいと思っています。

野村さん、貴重なお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。

（水原 咲子）



調理実習での1枚です♪

製品紹介

「ウッディティン」
カラー200

松材をふんだんに使ったやさしいドミノです。松にはヒノキチオールという芳香性の物質が含まれており、精神安定効果や抗菌作用があり、お子様も安心して遊ぶことが出来ます。さらに光の反射率が50〜60%で人間の目に最も心地よいとされています。塗料も人体に影響のないものを使用しています。ウッディティン200は全て並べると直線距離で約6〜7mになります。価格3,000円（税込送料込）
【お問い合わせ】

Tel 042-597-1451

就労日の出倉 加藤



ドミノだけではなく積み木としても遊べます！